

令和 4 年度

学校評価アンケート結果



阿南市立阿南第一中学校

令和4年度調査

1 回答者

令和4年12月8日（木）～22日（木）

教職員24名 生徒274名 保護者230名

2 回答方法

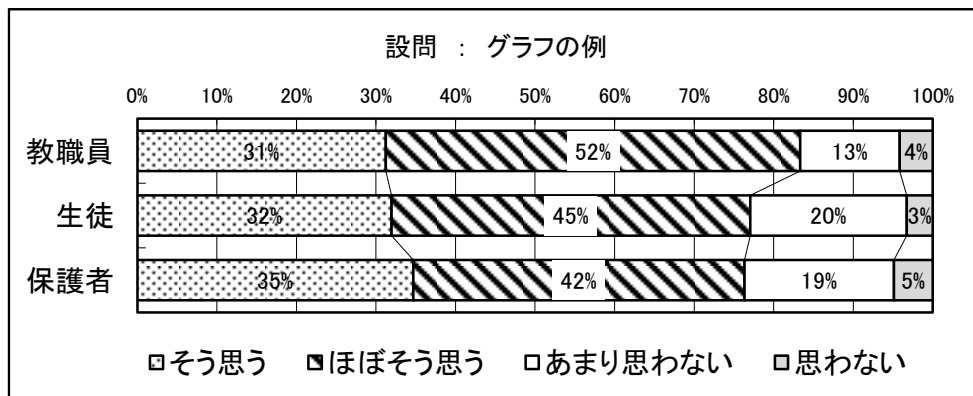
各質問事項に対して、「1そう思う」「2ほぼそう思う」「3あまり思わない」「4思わない」の4段階で回答していただき、「1そう思う」「2ほぼそう思う」を肯定的意見、「3あまり思わない」「4思わない」を否定的意見として、調査結果を分析しました。

3 結果の活用

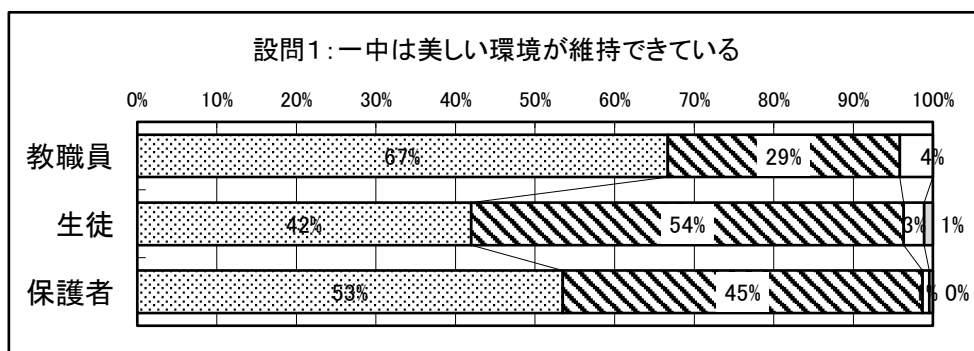
調査結果は2月にとりまとめ、全教職員に配布検討し、課題と改善点を明らかにした上で、次年度の学校運営や教育方針、さらに重点目標の参考にしていきます。また、保護者や学校運営協議会委員の方々にも調査結果をお示ししてご助言をいただき、改善すべき点は積極的に改善するよう努めていきます。

また、ホームページに掲載して、広く周知を図ります。

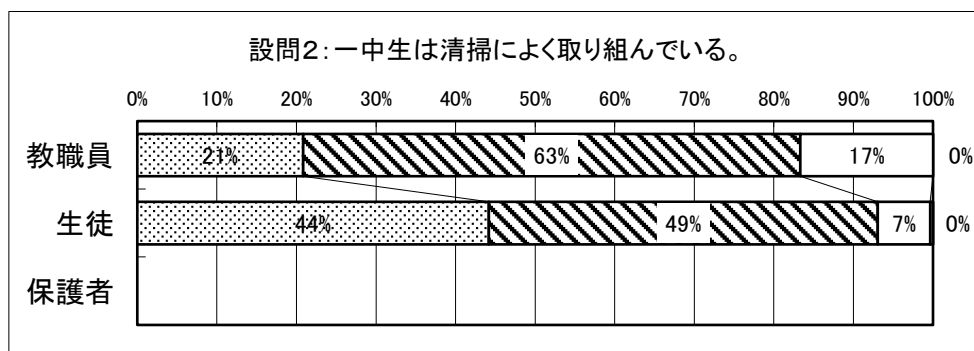
グラフの見方（例） グラフ内の数字は全体に占める割合（パーセント）です。



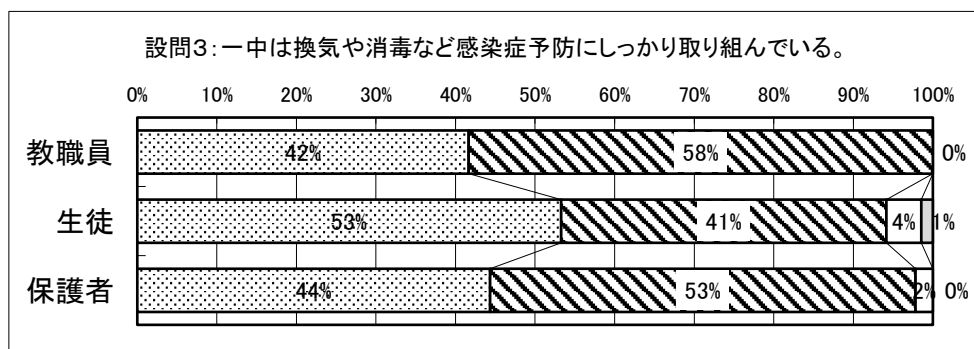
1 学校の環境に関すること



【設問1】では、教職員・生徒・保護者とも90%以上で肯定的な回答が得られ、高い水準での評価となっています。これからも美しい環境を維持できるよう努めて参ります。

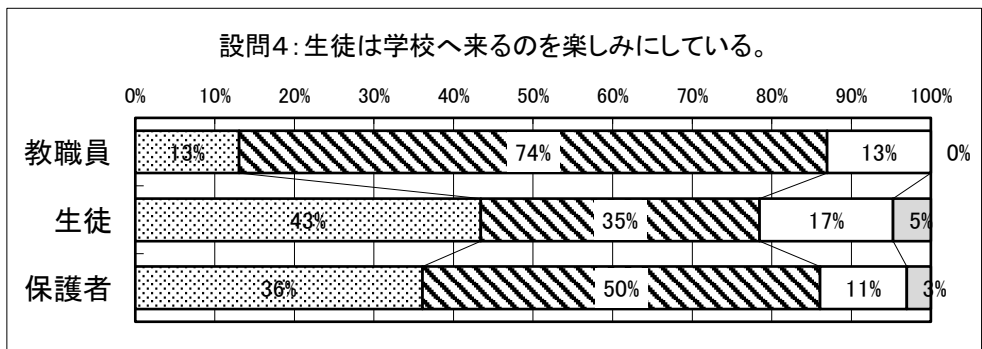


【設問2】では、肯定的な回答の割合が生徒93%、教職員84%と昨年と同様に高い水準になっています。本校の生徒信条の一つでもある「場を清め」、今後も主体的な清掃活動になるように取り組んでいきます。

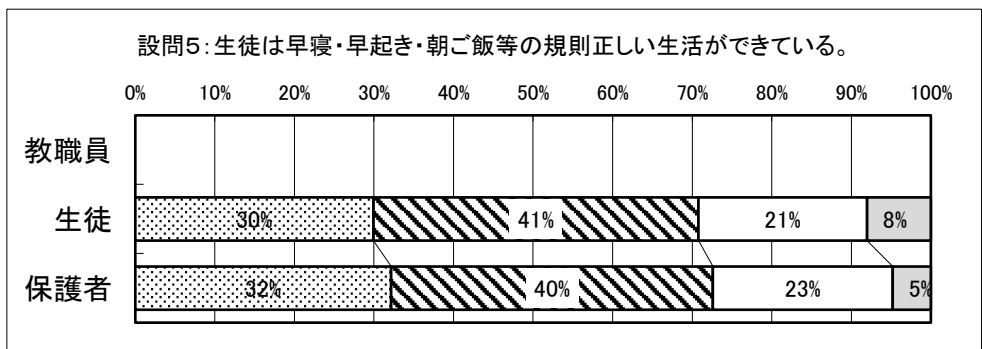


【設問3】では、教職員・生徒・保護者とも90%以上で肯定的な回答が得られました。近年の新型コロナウイルス感染症の影響から学校でも換気やマスク着用、消毒などを徹底しています。これからも油断することなく感染症予防に努めて参ります。

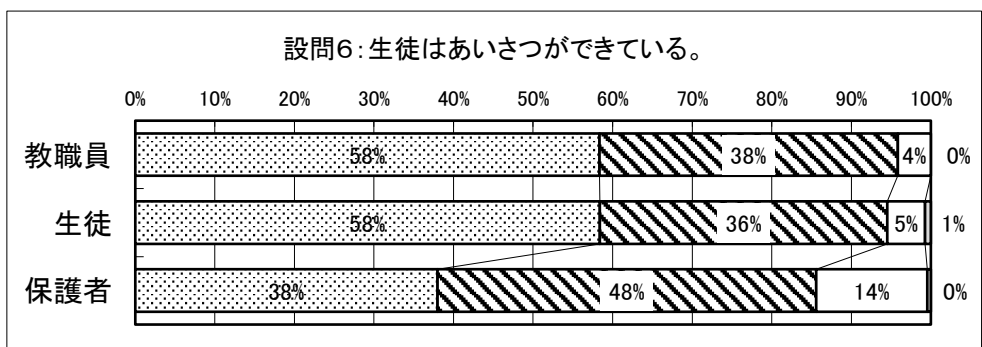
2 生徒の学校生活に関すること



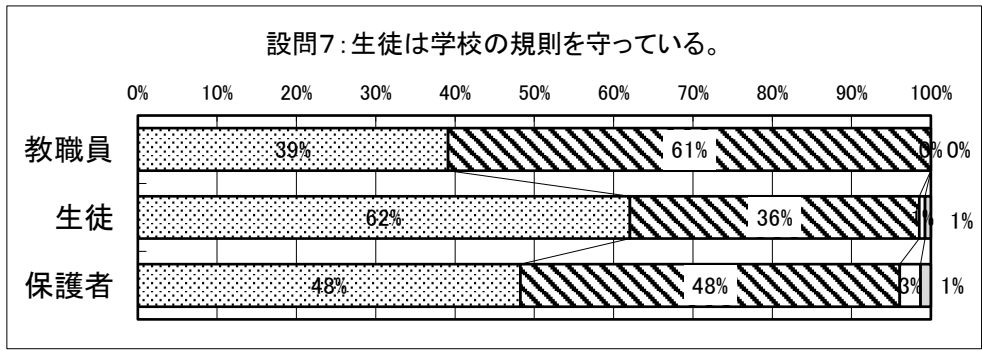
【設問4】では、肯定的な回答をした生徒は78%で、昨年度より1%の減少、保護者は86%で1%の増加となりました。教職員はこの数字をしっかりと受け止め、すべての生徒が「学校へ来るのが楽しみである」と回答できるように、教育活動をすすめます。



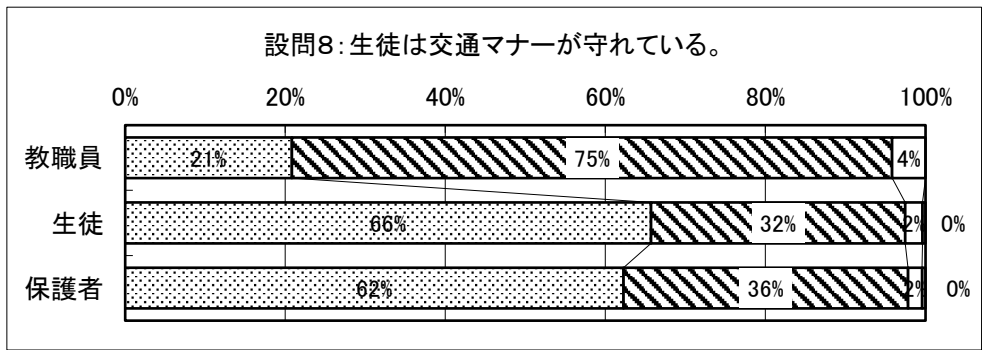
【設問5】は本年度追加した質問です。29%の生徒が夜更かしをしたり朝食を食べなかったりしているという結果になりました。今後は生徒の健康と体力の向上、規則正しい生活習慣の確立をめざし、家庭と協力しながら取り組んでいきます。



【設問6】では、昨年度と同じように、生徒、保護者、教職員ともに高い水準で肯定的な回答をしています。生徒の94%、教職員の96%が肯定的な回答を寄せており、挨拶への意識は高いといえます。今後も「あいさつ日本一」を目標に、社会生活の基本として、また、一中の伝統として継続させていきます。

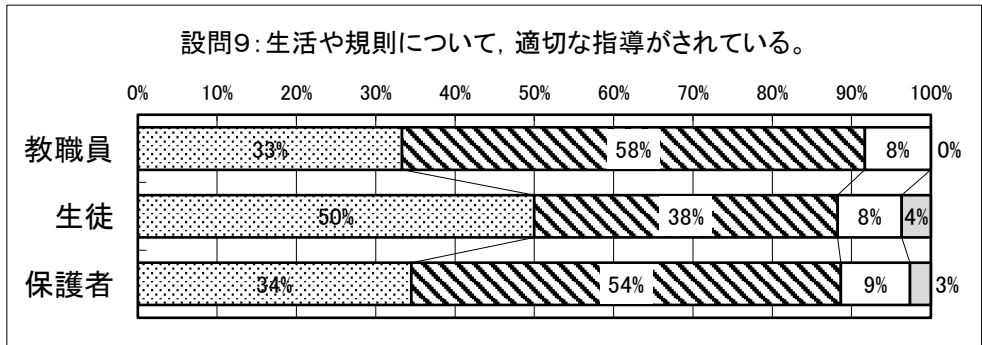


【設問7】では、「規則が守られている」と回答した生徒、保護者、教職員は、ともに100%に近く、昨年同様に高い水準を保っています。学校生活全般を見ても、ほとんどの生徒が規則を守り、落ち着いた生活を送っています。学校だけでなく、地域社会の一員としての自覚を持ち、高い規範意識のもと規律正しく生活できるよう、今後も集団行動をはじめ学級活動など、日々の学習活動で指導を継続していきます。

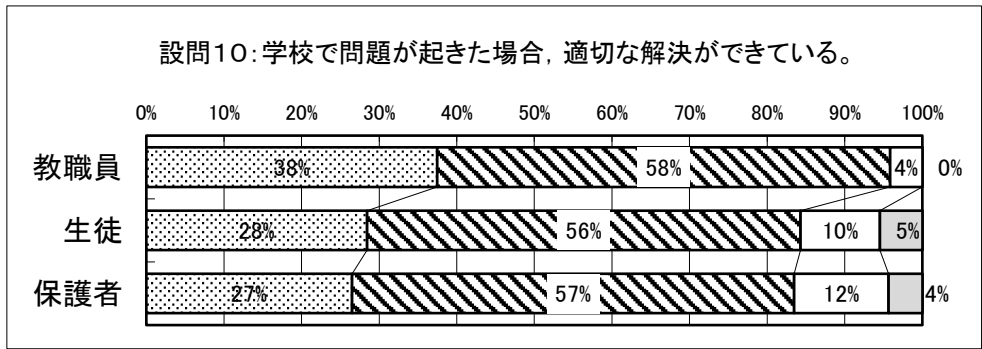


【設問8】本校の周辺道路では交通量が多く、通学路付近での工事もあり、危険と隣り合わせで通学する状況が続いています。日々危機感と緊張感をもって、交通マナーやルールを守った登下校をすることがとても大切です。否定的な意見は、わずかですが確かにあるので心配しています。命に関わる問題なので、油断することなく、日々呼びかけや啓発をすすめ、安全第一の教育を行っていきます。

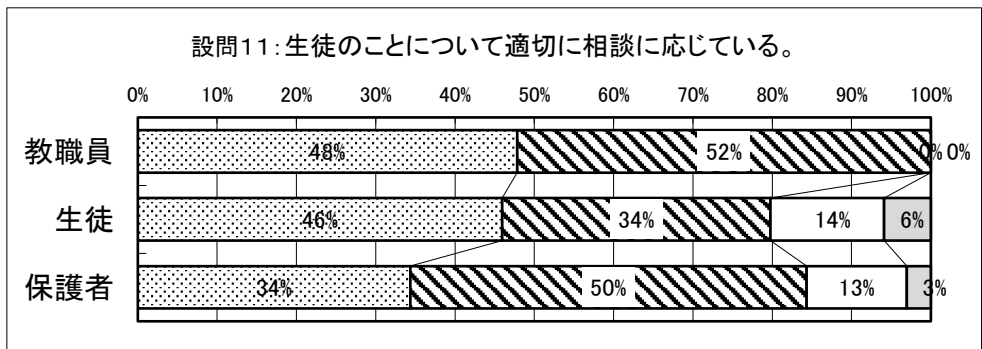
3 生徒指導に関すること



【設問9】「生活や規則について、適切な指導がされている」について、生徒・保護者ともに88%が肯定的に捉えています。昨年度より肯定的な回答の割合が3~5%低くなっています。今後もより適切な指導が継続してできるように、反省と改善をしながら活動をすすめていきます。

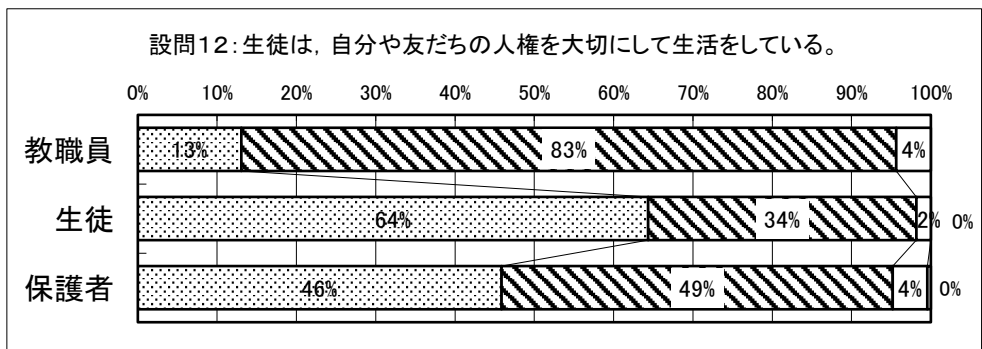


【設問10】は昨年度からの変化はなく、生徒の85%、保護者の84%が肯定的にとらえています。今後も家庭との連携を図り、優しさと厳しさを併せもちながら生徒との信頼関係を築き、粘り強く問題の適切な解決を図っていきます。

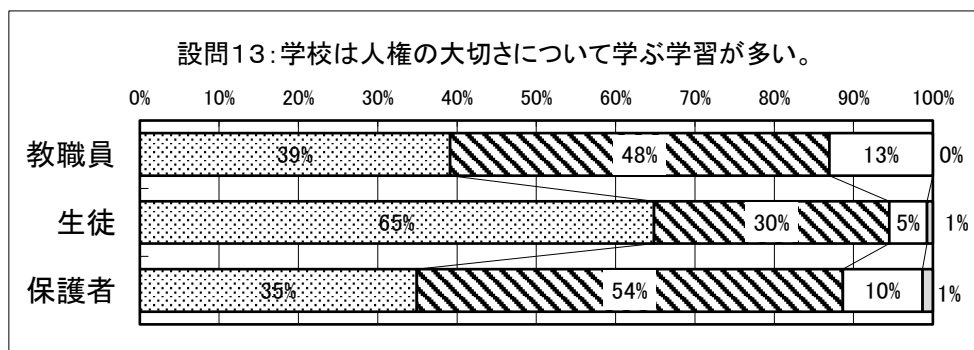


【設問11】の相談活動では、肯定的な意見が生徒では80%、保護者では84%となりました。しかし、教職員の回答に対して意識のずれが見られます。このことをしっかりと受け止め、教職員は今まで以上に生徒と向き合う機会と時間の確保に努め、より丁寧に相談活動ができるようにしていきます。また、継続して複数教員が相談に対応するよう取り組みます。

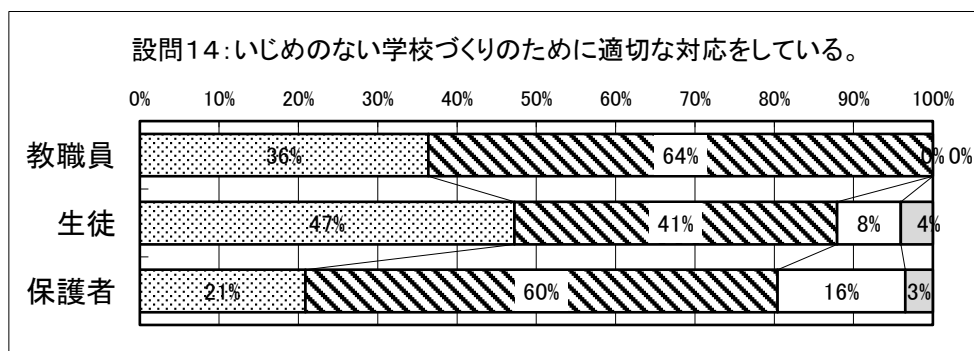
4 人権教育に関すること



【設問12】で肯定的にとらえたのは、教職員96%、生徒98%、保護者95%です。生徒・保護者とも昨年と同じ割合でした。学校が安心できる場所であるために、これからも肯定的な意見が100%になるよう努力します。

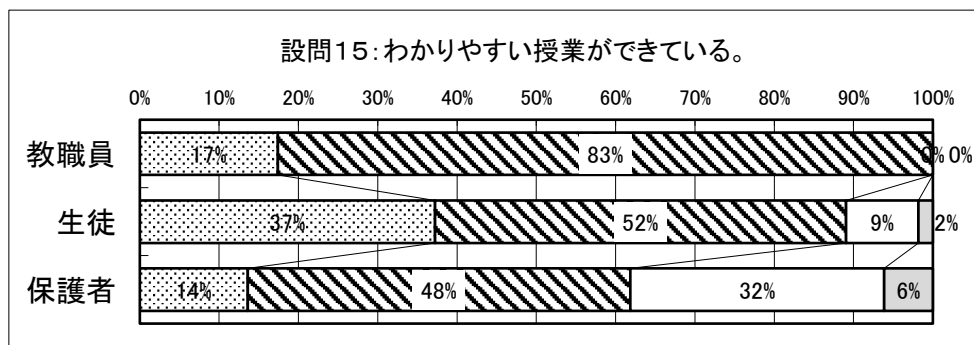


【設問13】で肯定的な回答は、教職員 87%、生徒 95%、保護者 89%でした。生徒・保護者とも昨年度より 2%減少しました。教職員については 10%減少しており、本校の目標でもある人権教育の充実をめざし、人権学習をすべての教育活動の基盤に据えた教育を強く推進していきます。また、「PTC でつくる人権のつどい」や毎月の人権教育・啓発通信「和 ～なごみ～」などを通して、保護者とともに考える機会を増やし、啓発活動にも取り組んでいきます。

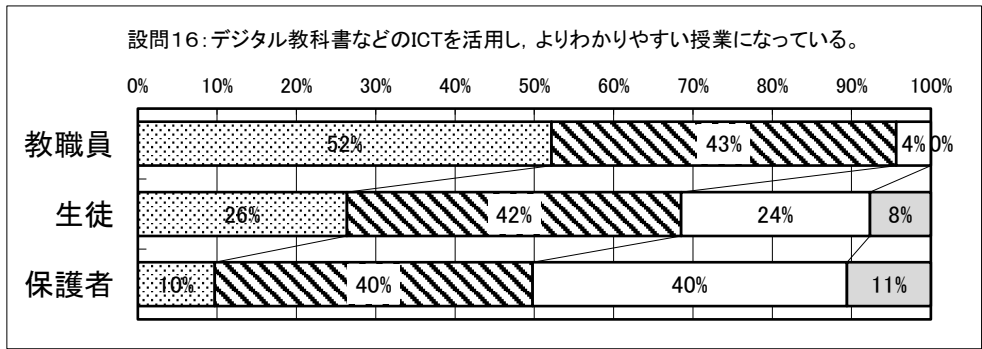


【設問14】いじめはいつでもどの学校でも起こりうるという認識のもと、定期アンケートや相談活動などを通して全教職員で取り組む重要課題です。今回、生徒 88%、保護者 81%が「適切な対応」として肯定的な回答となっていますが、一方で生徒の 12%、保護者の 19%が否定的な回答になっています。このことを重く受け止め、生徒が安心して充実した学校生活を送れるように、保護者・地域・関係機関と連携し、いじめのない環境作りに努めるとともに、早期発見・早期解決するように適切な対応を進めていきます。

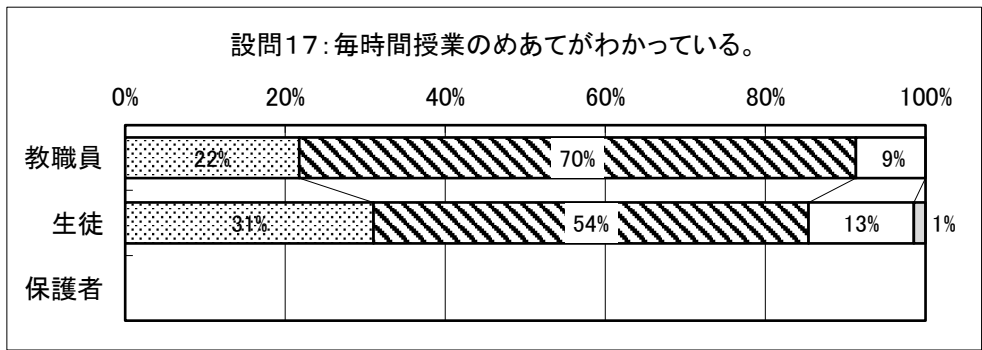
5 学習指導に関すること



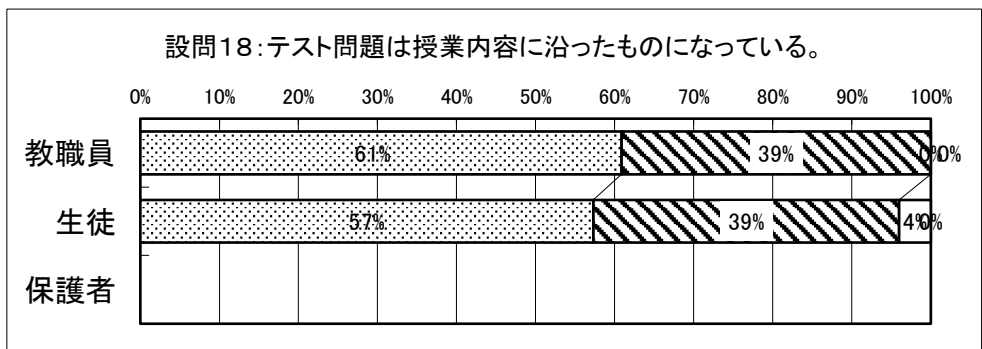
【設問15】本校では学びのユニバーサルデザインの考え方を取り入れ、教室環境の改善やヤマ場のある授業作りなどの授業改善に取り組んでいます。生徒の肯定的な回答は 89%となり、昨年度より 8%増加しました。教室環境については日常的な取り組みとなり、授業改善についても成果が現れていると考えられます。今後も生徒の理解を確認しながら、わかりやすい授業の構築に努力を重ねていきます。



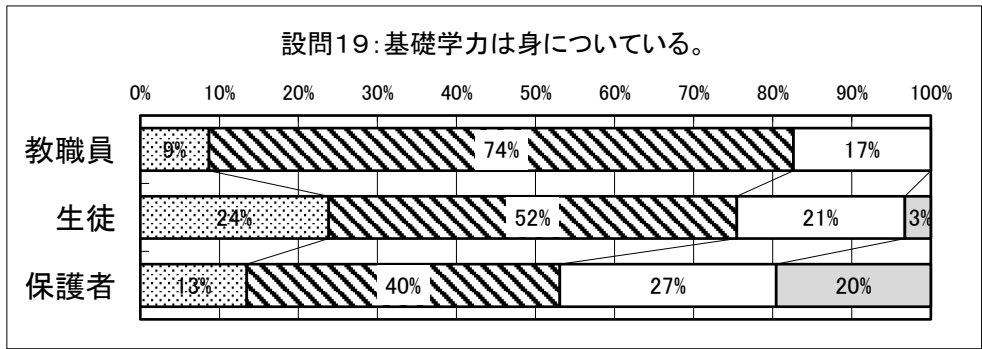
【設問16】GIGA スクール構想に基づき、一人一台のタブレット端末が導入され、高速大容量の通信ネットワークも整備されました。本校でもデジタル教科書や協働学習アプリを用いたりして授業に活用しています。肯定的な回答は昨年度と変わらず、生徒では68%となっており、教職員がさらに研修を深め、より効果的に活用していく必要があります。今後も研修を重ねてこれからの新しい社会を生き抜いていく生徒たちにとって必要な力を身につけて参ります。



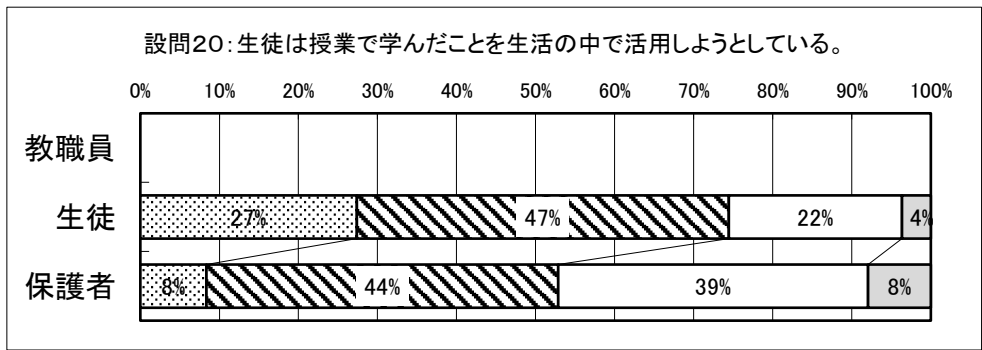
【設問17】では、肯定的な回答が、教職員では92%、生徒で85%になっています。前述の学びのユニバーサルデザインの一環として、また、めあてを理解することが主体的な学習態度にもつながっていくことから、これからもめあてにそった授業展開、まとめの時間の確保などを継続していきます。



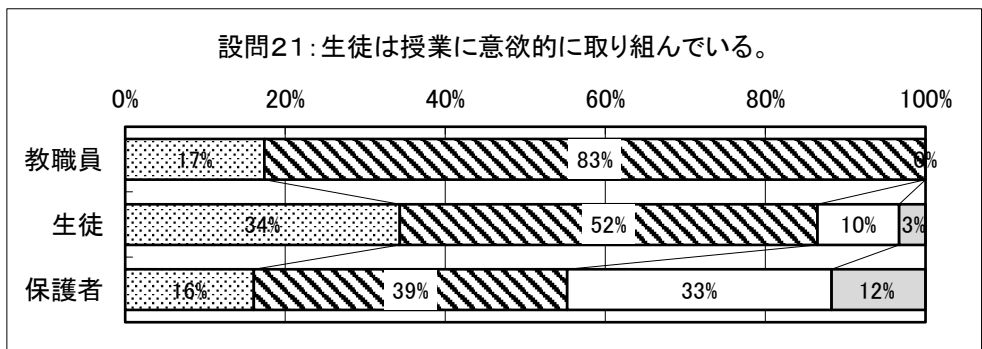
【設問18】テスト問題の内容が授業にそったものでなければ、学力の定着を図ることが難しくなります。その意味では、生徒の96%が肯定的な回答でほぼ満足のいく回答といえます。今後も授業のめあて・目標をはっきりとさせ、授業とテストが結びつくように授業を組み立て、まとめの時間、復習の時間も確保しながら学習を進めていきます。



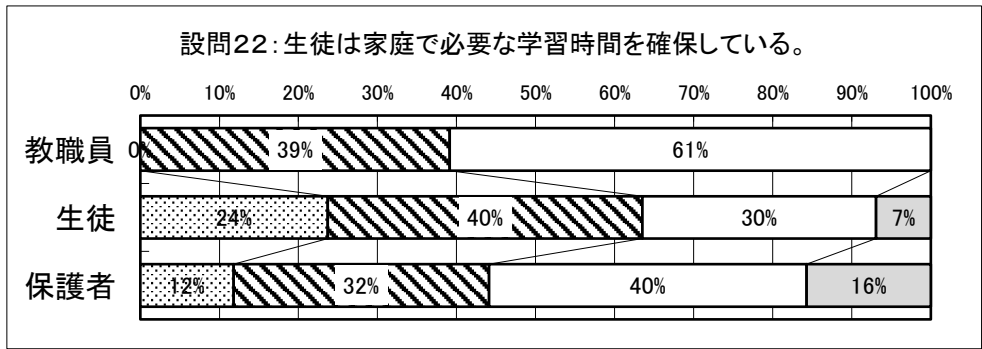
【設問19】昨年と比べてもあまり変わらない厳しい数字ですが、今年度は肯定的な回答が、教職員は12%増加、生徒は3%減少、保護者は8%増加となりました。この設問においてはそれぞれの立場で意識の差が見られます。今年も引き続き基礎学力が定着するよう、自主学習ノートの取組や学習用タブレットの持ち帰りを行い、家庭学習の充実をはかってきました。授業と家庭学習は学力向上・基礎学力の定着の両輪です。今後も継続し、きめ細かな支援・指導を行っていきます。



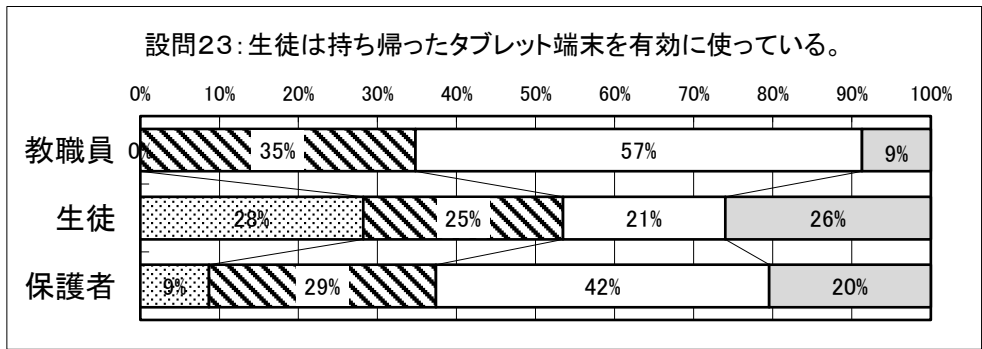
【設問20】全国学力・学習状況調査において、「学んだことを活用する力」に課題が見られる。アンケートからも、生徒26%、保護者47%が活用できていないという結果が見られた。授業において既習の内容を活用する場面を多く設定し、各教科や総合的な学習の時間において「学んだことを活用する力」の育成に努めていく。



【設問21】「授業に意欲的に取り組んでいる」と回答した割合が、教職員・生徒・保護者ともに昨年と比べて増加しています。今後も引き続き、生徒が意欲的に取り組めるような授業改善と、今学んでいることが将来へとつながっていく意識を持たせるキャリア教育を実践し、主体的に学ぶ姿勢を育てていきます。また、授業での意欲が、家庭学習にもつながっていくように継続的な指導を行っていきます。

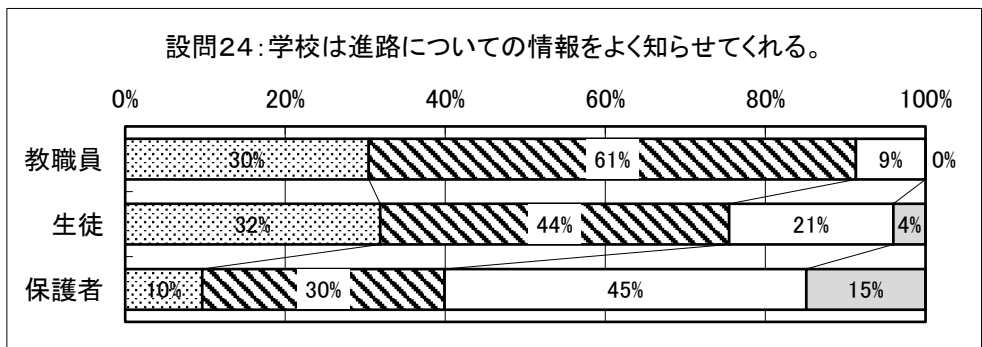


【設問22】グラフを見ると大変厳しい結果であることがわかります。生徒と教職員・保護者との意識に差が見られ、まだまだ家庭学習の時間が確保されていないことがわかります。学力の向上は本校の課題の一つです。少しずつ学習時間を確保できつつある生徒もいますが、家庭学習の習慣化を図り、学力向上をめざしていきます。

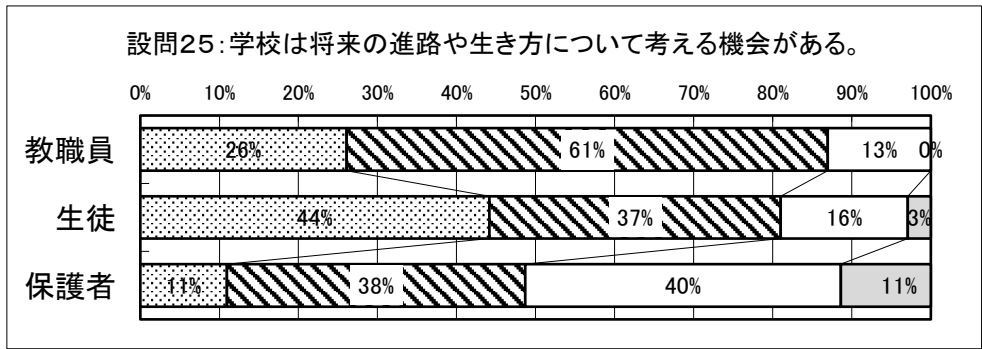


【設問23】今年度より、学習者用一人一台タブレット端末の持ち帰りを実施しています。教職員・生徒・保護者ともに、有効に使えていないという回答が多くなりました。タブレット端末を持ち帰る意義指導を充実させることに加え、有効に活用するための課題を提示したり、自主学習に適したアプリを導入したりするなど、教職員が研修を深め、持ち帰ったタブレット端末を有効に使えるようにしていく。

6 進路指導に関すること

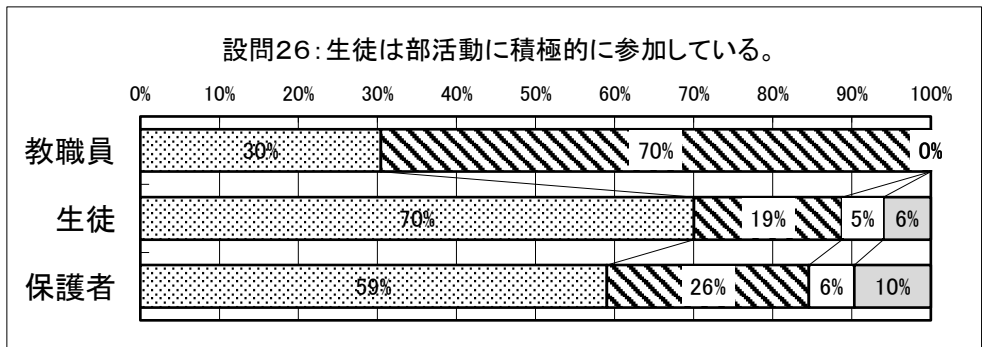


【設問24】では、肯定的な回答は、教職員は昨年より24%増加し、生徒は8%減少、保護者は5%減少しました。教職員・生徒・保護者の意識に差が見られ、特に生徒と保護者との間に大きな差があります。また今後、学級活動等の授業や掲示物で生徒たちに十分知らせるようにし、またホームページ、「学校だより」「学年通信」などで情報を提供していくよう、一層の努力をしていきます。

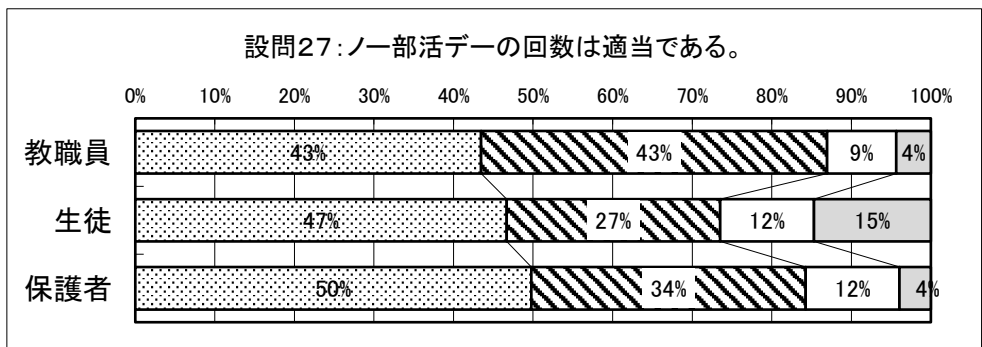


【設問25】肯定的な回答は、教職員は87%、生徒は81%、保護者は49%でした。【設問24】と同じく、保護者は半数以上がさらなる情報提供の充実を求めていることがうかがえます。学級活動、総合的な学習の時間の充実、講演会、外部講師の活用などにより充実した教育活動を継続し、3年間を見通したキャリア教育を推進するとともに、三者面談などを利用した相談活動も充実していきます。

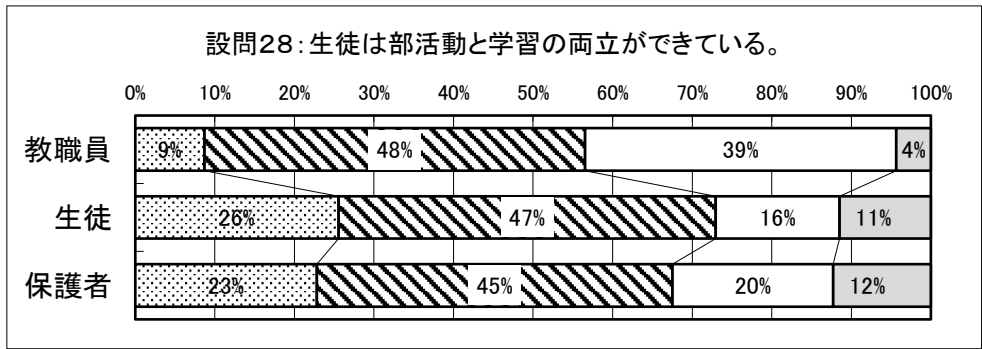
7 部活動に関すること



【設問26】では、教職員100%、生徒89%、保護者85%が積極的に取り組んでいると回答しています。生徒のほとんどが積極的に部活動に取り組んでいることがうかがえます。一方で11%の生徒が否定的な回答になっています。今後も生徒のよりよい成長のため、保護者とともに取り組んでいきます。

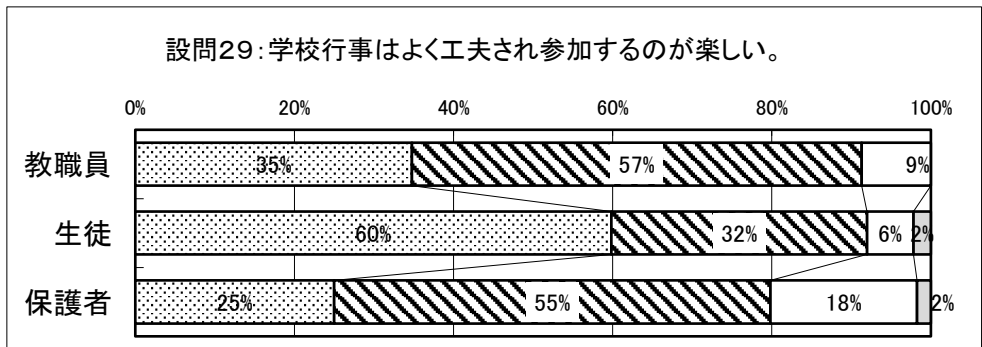


【設問27】では、生徒の74%、保護者の84%が適当な回数であると評価しています。生徒の怪我防止や体力回復のためにも休みをしっかりと取り、また、生徒にとって充実した部活動となるよう運営に努力していきます。

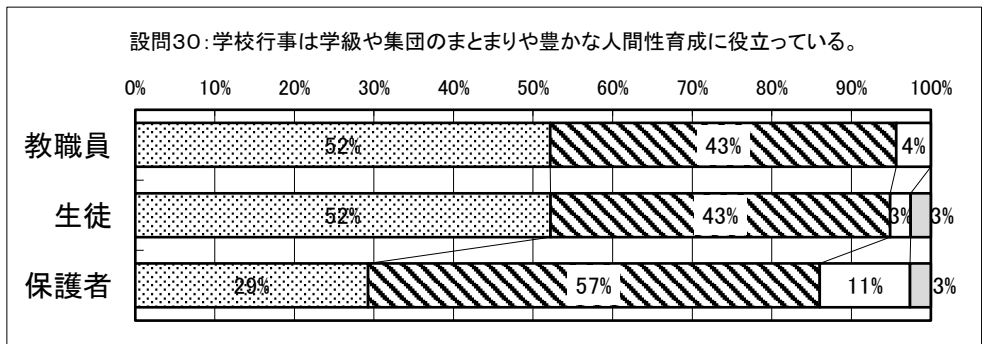


【設問28】は、学習に関する設問と関連しますが、教職員57%、生徒73%、保護者の68%が肯定的な回答でした。教職員と生徒・保護者との意識のズレが読み取れますが、毎日続けて学習する習慣ができるよう、また部活動週休2日の完全実施を行うなど、学習と部活動のバランスを考えた教育活動を実践していきます。

8 学校行事に関すること

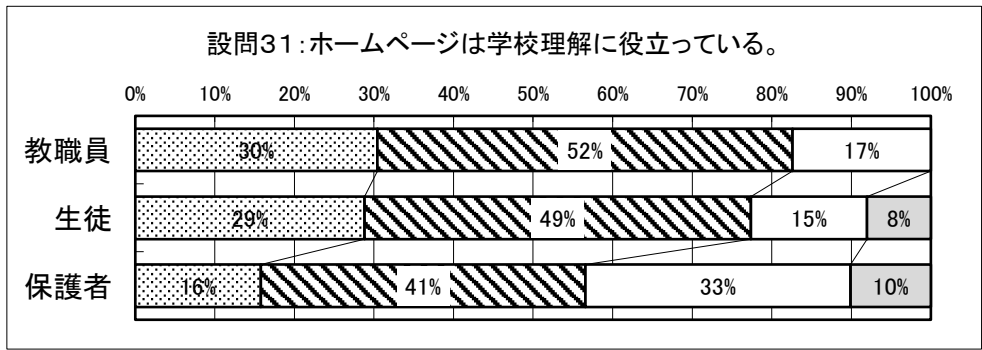


【設問29】では、教職員92%で昨年度に比べて大幅に増加しました。コロナ禍が落ち着き、学校行事も感染予防対策をしっかりとしながらある程度実施できた結果だと考えます。その中でも生徒92%が肯定的な回答をよせています。今後も地域の中心としての学校をめざし、学校の求心力が高められるよう、職員会、PTA役員会等で意見交換をしながら見直しをするなど、工夫を重ね、よりよき行事を実施していきます。

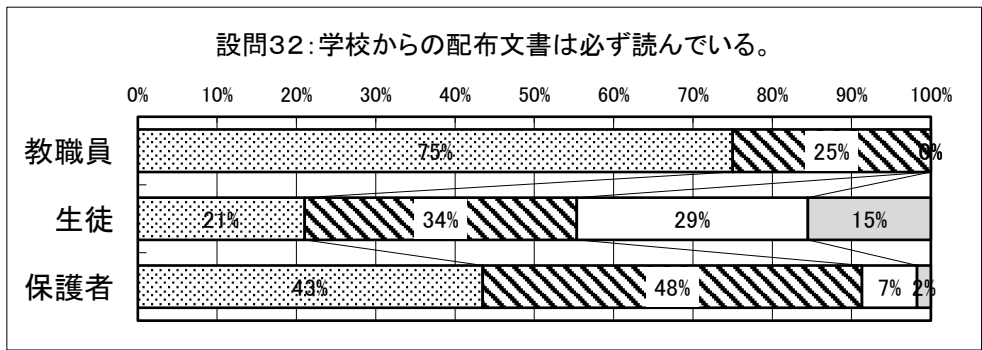


【設問30】では、教職員95%、生徒95%、保護者86%が肯定的に回答しており、全体的に昨年よりも向上しています。これからも、学校行事で嫌な思いをする生徒がいないように、行事の目的を生徒に考えさせ、社会性の育成に取り組んでいきます。また、感染症予防対策をしっかりとりながら運営方法や内容を工夫し、行事を通して協力することの大切さや思いやりの心を育てていきます。

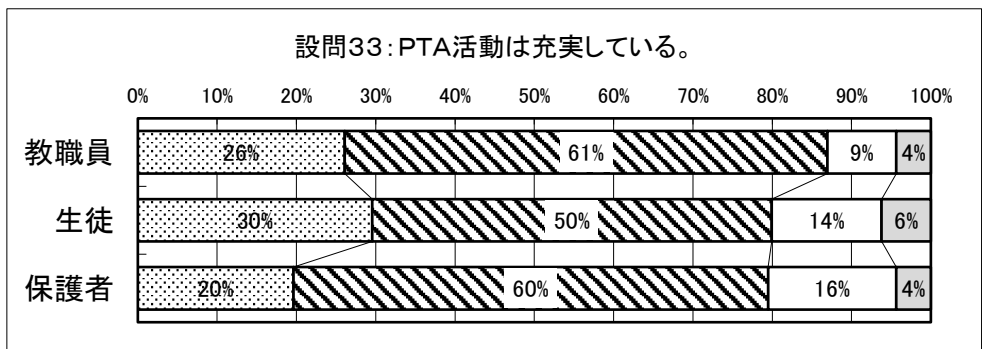
9 開かれた学校づくりに関すること



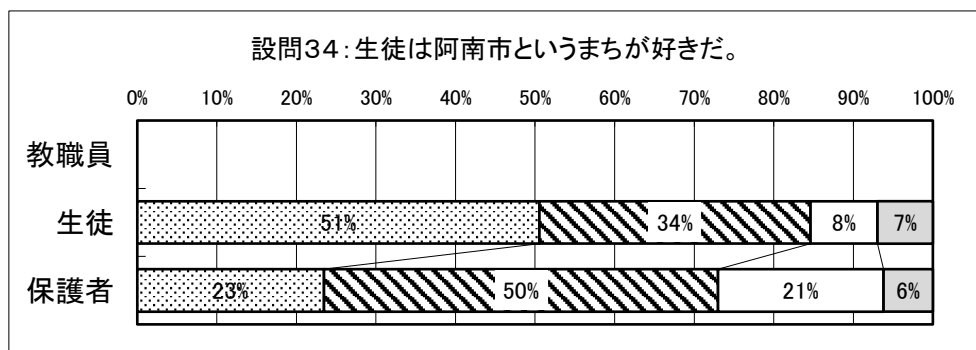
【設問31】では、教職員82%、生徒78%、保護者57%が役立っていると回答しています。昨年と比べ、教職員・生徒・保護者ともに肯定的な回答の割合は大きく増加しています。今後も正確で新しい情報を積極的に提供することを心がけ、ホームページを運営していきます。



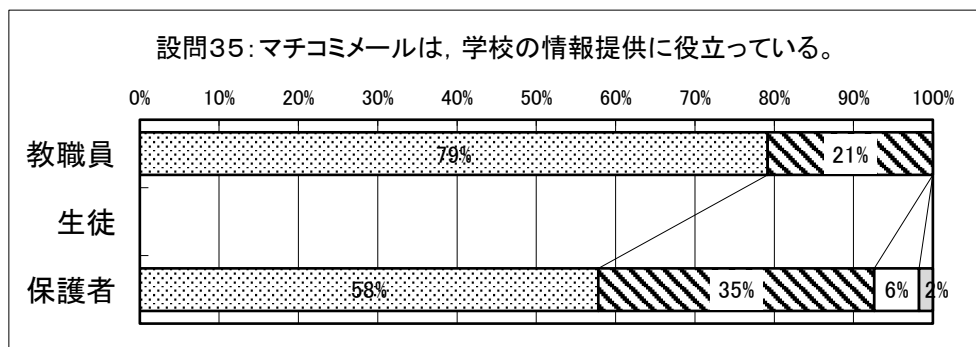
【設問32】では、肯定的な回答が生徒55%と昨年同様、まだまだ低い数値となっています。保護者の回答は91%となっており、多くの方が目を通してきています。生徒には配布のみに終わらず、短学活で一緒に読むなどして意識を高めていきます。また、保護者に確実に届くように生徒にも指導していきます。さらに、配布物そのものが読みやすく見やすくなるよう工夫をしていきます。



【設問33】毎回授業参観に多数の保護者の皆様が来校していただいております。各専門部での活動も再開し、市P連スポフェス大会にも多数の保護者の皆様のご参加とご協力をいただきました。教職員87%、保護者80%が肯定的に捉えてきています。今後も、PTA役員を中心に計画をすすめ、学校、保護者、地域がより連携を深め充実した活動にしていきます。



【設問34】では、生徒の85%が阿南市が好きであると回答しています。学校でも地域をいかした行事を実施したり、自分たちの暮らすまちの良さを知る機会をできるだけ多くつくったりして、市の魅力を伝えていきたいと思ひます。



【設問35】教職員、保護者を対象に回答していただきました。両者とも肯定的な回答がほとんどで、昨年と変わりありません。これからも、学校行事や学校生活に関するお知らせ、お願いなど、必要な情報を早く提供できるよう取り組んでいきます。

終わりに

今年度は、保護者参加の学校行事を少しずつ再開することができ、設問29「学校行事はよく工夫され、参加するのが楽しい」と、設問33「PTA活動は充実している」の回答についても再開しました。

全体の傾向として、昨年度より肯定的な回答が少しずつ増加しています。コロナ禍の中で生徒・教職員が保護者の方の協力の元、できることを確実にやってきた成果だと考えています。今後も引き続き感染症予防に十分配慮していくことはもちろん、すべての生徒が安心・安全に生活を送ることができる学校づくりに取り組んでいきます。

また、教職員と生徒、保護者との間で意識のズレがあると思われる項目もありましたが、多くの項目にわたって肯定的な回答が寄せられました。しかしながら「基礎学力の定着」「家庭学習の時間の確保」「ICTの活用」「タブレット端末の持ち帰り」「進路についての情報」など否定的な意見の多いところもあります。これらについては、学びのユニバーサルデザインの考え方をいかした授業づくり・教室環境づくりを中心とした取り組みをさらに深めていき、改善への努力を継続していきます。また、GIGAスクール構想による一人一台タブレット端末と高速通信ネットワークを活用したより効果的な授業のあり方について今後研修を積み重ね、これからの社会に生きる生徒たちに必要な知識と技術を身につけられるよう取り組みます。そして、「いじめに関すること」「交通安全に関すること」など安心・安全にかかわる問題や「学校が楽しい」などの項目は、肯定的回答の100%をめざし引き続き努力していきます。

アンケートへのご協力ありがとうございました。